



[ねんりんピック成績報告会20171109](#)

[ねんりんピック成績報告会20171109](#)

11月9日静岡県庁本館4階議会特別会議室に於いて、ねんりんピック秋田2017静岡県選手団の成績報告会が行われました(写真左)。

参加種目23競技6部門、登録選手169人及び12作品から代表して土居征夫選手団団長と安藤ひろ美旗手・弓道(優勝)以下、今大会に於いて入賞種目の代表26名が出席し吉林彰仁静岡県副知事への報告を行いました。写真右は挨拶に立った吉林副知事。



[ねんりんピック成績報告会20171109](#)

[ねんりんピック成績報告会20171109](#)

佐古伊康(公財)しずおか健康長寿財団理事長より、天候にも恵まれて好成績につながった、前日開催県の外で宿泊し出陣式行い、異種目の選手との交流が図れた。また、大会に於いては他県の人との交流や主催県の子供、特に小学生との交流が図れた点良かった等、大会概要を報告されました(写真左)。

土居選手団長は、良い成績で静岡県をアピールできた事や地元小学生と力強い入場行進を行った事、そして全国の参加者や地元選手との交流が図れたことを報告しました(写真右)。

吉林副知事より、自分もスポーツしていた経験を話し、出席した競技の代表者に質問をされていました。

まず、優勝した弓道は山澤栄さん(75才)から、女性1人、70才以上が1人を含む5人の団体戦であるとチーム構成の説明が有り、たまたま東部出身の選手で構成され、一緒に練習する機会ができ、安藤監督のもとチームワークが良かった事が優勝に繋がったと報告。

続いて、ダンススポーツ、サッカーと優勝した種目の代表が競技の説明や内容について報告しました。

囲碁については、精神力が必要だと思いが日頃どのような練習をしているのですかと質問され江面雄次さん(71才)は一人40分の持ち時間しかないので集中力が必要であり、日頃から体を動かし、プールに行っていると答えられました。



[ねんりんピック成績報告会20171109](#)

水泳で2種目出場して、優勝と準優勝した大塚安孝さん(82才)には、とても80代に見えませんね。若さを保つ秘訣について教えて下さいと尋ねられ、大塚さんは毎日の練習では疲れが残るので1日おきに練習していると答えました。本当に若く見え、実年齢を聞いた時には私も驚きました(写真)。



[ねんりんピック成績報告会20171109](#)

[ねんりんピック秋田2017体験談その3\(成績報告会\)](#)

私の出場したウォークラリーについては、どのような練習をしたのですかと質問され、監督の渡邊英機さん(73才)より開催場所の角館の歴史について勉強したりゲームの練習をしていたが練習したゲームは出なかった。ゲームの失点が僅差の2点差となって準優勝に甘んじた。2年後の和歌山を目指して勉強中だと答えました(写真左)。写真右はウォークラリー代表の3人(左から渡邊さん、体験取材の加藤、白井さん)。

その後、マラソン、卓球、剣道、健康マージャンについて質問され、それぞれの代表の方が回答していきましました。一時間ほどで成績報告会は終了しました。



[ねんりんピック成績報告会20171109](#)

最後に出席者全員で記念撮影をしました。静岡県に生まれ、育ち、働き70才までの殆どを静岡県に住んでいましたが、県庁の議会会議室に始めてきました。これも、ねんりんピックに出場して準優勝したお陰です。良い思い出になるでしょう。チームの仲間に感謝します。良い体験を有難う！

そして、サポートして頂いた県庁の皆さん、しずおか健康長寿財団の職員の皆さん、本当に有難う御座います。